# 事務事業事後評価シート[平成29年度事業]

### 1. 基本情報

■事業の担当課	まちづくり部地域づくり課    ■			■担当係	係 生活安全係	
■評価事業名称	交通指導員設置事業					
■事業開始年度						
■評価事業コード	090100 - 300 ■会計区分 一般会計					
A =1 =	■政策 04 美しい環境と心を守り育てるまちづくり					
■総合計画での ■位 置 づ け	合計画での 置づけ ■基本施策		03 安全・安心な地域社会の構築			
	■施策	04 交通	安全対策の推進	<u>É</u>		
■事業の類型	05 ソフト事業(任意) ■政策・業務区分 政策			政策		
■法令の根拠区分	法令に特に定めのないもの					
■法令等の名称						
■関連計画の名称	北上市交通安全計画					
■事 業 の目的と概要	交通指導員による街頭指導、広報・啓発活動等の実施による地域交通安全活動の普及・促進及び子供や高齢者に対する交通ルールの啓発と交通安全教育の充実・強化を図る。交通安全思想の普及を図るとともに、正しい交通ルールの励行を指導し、交通事故を防止するため指導員、専任指導員を設置 (指導員定数70人、任期3年) (専任指導員 2人、任期2年)					

## 2. 細事業の活動実績情報

細事業 細事業 コード 名称	事業の対象	平成 29 年度事業計画	平成 29 年度事業量実績
01 交通指導員 設置事業	交通指導員	交通安全教室·広報、街頭指導 ·交通安全教室 ·交通指導隊幹部会議	・広報、街頭指導・交通安全教室(190回、延べ15,512人の参加。うち高齢者教室21回延べ631人の参加。)・交通指導隊幹部会議7回

#### 3. 投入コスト情報 (単位:千円)

	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	備考
直接事業費	12,970	12,692	13,291	11,918	
人 件 費	3,640	3,872	4,013	3,635	
その他(公債費・減価償却費等)					
フルコスト	16,610	16,564	17,304	15,553	

## 4. 評価指標等の状況

指標コード	指標名	26年度	27年度	28年度	29年度	指標の説明
交通技	指導員の活動日数	88日	95日	98日	94日	1人あたり交通指導員の活 動平均日数
交通5	安全教室の実施回数	168回	187回	172回	190回	交通安全教室・出前講座の 延日数
交通	事故発生件数	222件	204件	201件	214件	交通事故発生件数

# 5. 事後評価(「政策」事業類型5・6のみ)

達	成状況の分析	問題点・課題等		
●目標達成状況	通事故発生件数は横ばいである。	交通指導員の人数が定員に達しておらず、活動 の負担が大きい。		
1. 直接的な受益者の範囲				
● 不特定多数に及ぶ	● 類似の事業はない			
○ 特定されるが多数に及ぶ	○ 類似の事業はあるが競合はない			
○ 特定少数に限定される	○ 類似の事業があり競合する			
3. 事業廃止の影響	'	 		
○ 大きな不利益やリスクが生じる	○ 市民生活・企業活動の維持に不可	欠 ① 1. で選択した人の大多数(70%程度)		
<ul><li>ある程度の不利益やリスクが生じる</li></ul>	● 市民生活・企業活動の維持の向上			
○ 不利益やリスクは小さい	○ 市民生活·企業活動の維持の向上 への影響は少ない	. │ ○ 1. で選択した人の少数(30%程度)		
6. 事業へのニーズの変化		'		
○ ニーズが高まっている	◉ 順位が高い	● 順位が高い		
● ニーズは変わらない	○ 順位が中程度	│ │ │ 順位が中程度		
○ ニーズが低下している又は合致しない	ヽ │ ○ 順位が低い	○ 順位が低い		
9. 他市町村に比較しての優位性	'	   11. 経済性・効率性の向上		
○ 先進的またはユニークな事業である	● 民間委託等の拡充は難しい	● 今以上の効率化や改善は難しい		
● 他と同程度の事業である	○ 民間委託等の拡充が十分に可能	○ 効率化や改善を図ることは十分に可能		
○ 遅れている事業である	○ 全部委託や実施主体の移行が可能	能 効率化や改善の余地が大きい		
■事業の見直し方策(評価項目2,4の補足 交通事故発生件数が横ばいであるものの 続的な活動が必要。交通指導員の負担転 等について検討。		☆充		